



筑西市商工会エコの木プロジェクト部会

島田敏さん
(海老ヶ島)

低炭素社会の構築に 挑戦していききたい。

「地球温暖化対策へ自分たちで
できることがないかを考えたこ
とが、活動を始めたきっかけで
した」と話すのは、筑西市商工
会「エコの木プロジェクト部
会」で部会長を務める島田敏さ
ん。平成20年に、商工会青年部
によるイベント「エコの木プロ
ジェクト〜ハートに植えよう小
さなエコの木」で自転車発電か
き氷や太陽電池のおもちゃの取
り組みを機に活動が始まります。

これまでに、中学校での自然
エネルギー体験授業やゴーヤを
使った緑のカーテンプロジェクト
ト、エコドライブステッカープ

ロジエクトなど、さまざまな活
動を行ってきました。

おひさまドライヤーと ソーラークッカー全国大会

グリーンカーテンで収穫され
たゴーヤを無駄なく活用するた
めにゴーヤ茶を作ることを考え
た島田さんたちは、平成25年に
太陽熱を利用して干し野菜やド
ライフルーツを生産する加工装
置「おひさまドライヤー」の開
発に成功します。

「工夫を重ね、デザインにもこ
だわりました。見た目もかっこ
よくないかね。とても質のいい

乾燥食品を作ることができま
す」と、製品に自信を持つ島田
さん。

島田さんたちは、おひさまド
ライヤーを携え、太陽熱を利
用した調理器具が一同に集う
「ソーラークッカー全国大会」
に出場を重ねます。その実績を
買われ、昨年11月には主催者と
して第5回ソーラークッカー全
国大会を「道の駅グランテラス
筑西」で開催しました。「多く
の人に太陽エネルギーの楽し
さ、可能性を感じてもらえる場
になりました」と、島田さんは
大会の成功を振り返ります。

エコを広げる 7次産業化へ挑戦

エコの木プロジェクト部会は
「おひさまドライヤーでエコを
広げる7次産業化」のテーマで
環境省「クールチョイスアワ
ード」で優秀賞を受賞しました。
7次産業とは、6次産業に「エ
コ」をプラスした言葉です。

「次の目標はソーラークッカー
の国際大会への出場です。エコ
への取り組みを、世界に広げて
いきたい」と熱い想いを語る島
田さんの目は、未来を見据えて
います。



▲おひさまドライヤーの使用例。
品質の安定した乾燥食品を作る
ことができます。



▲道の駅グランテラス筑西で開催された、ソーラークッカー全国大会。
電気もガスも使わない調理器具に、来場者は興味津々の様子でした。